

広島県幼稚園教育研究大会(フレーベル祭)アンケート (一部抜粋)

平成 27 年 5 月 27 日

演題：遊びの中の学びをみとり育む保育所の専門性～幼児教育の原点にかえる～

講師：神戸大学大学院人間発達環境学研究所 北野 幸子先生

- 保育中はついつい他の子と比べて「〇〇ちゃんはもう終わったよ」「〇〇くんはもうできたよ」などと、子ども同士を比べたような声掛けをすることもありました。しかし、今日の北野先生のお話を聞いて、子どもに対して人と比べたような評価をするのではなく、**その子がやろうと思ったこと、がんばると決めた事への評価**をしようと考えなおしました。小学校の免許も持っているので改めて、小学校の学びというものも確認しようとも思いました。
- 改めて子どもたちの自信を育てること、そのために遊びを充実させることの大切さを感じました。**環境を整え、意図や見通しをもって**、子どもと関わるのが大切だと思いました。
- 幼児期の学び、好奇心の探究心、あこがれを育むために、**子ども達を見とる力、促すこと尊重すること**などしっかりと日々の保育でやっていきたいと改めて感じた。
- **豊かな直接体験・経験の蓄積**の中で人とかかわりができる子、豊かな心、言葉が育まれるという幼児教育の基本のところを具体的に聴くことができ、保育者の役割を重く受け止めました。今、我国でも教育研究していることが、今日先生のお話そのものです。接続期のお話で小学校の先生と保育内容の共有が必要であると痛感しています、がなかなかそこまでできていないもどかしさがあります。小学校との温度差(教育内容の共有化の必要性について)があるのも事実であり、この打破にどうすべきか悩んでいます。
- 胸がわくわくしました。**乳児期の基本的信頼感と自覚の学び、体験と共感の積み重ね、自己決定**、私たちの専門性をあらためてふり返り、意欲がわいてくるお話でした。
- 集団ばかりに目がいつている現場が日々のように感じますが、**集団の中で個の対応や促し**が質の高い保育になるような学びをしていきたいと改めて思いました。
- 今日での幼児教育のあり方について、保育者は原点から学ぶことが大切だと思いました。私は今、フレーベルの研究をしています。今回の講演ではフレーベルの考え等、それが**子どもにどう影響を与えるかなどフレーベルについてより学ぶ**ことができました。そして幼児教育のあり方について学ぶことができました。これをもとによりよい幼児教育ができるよう努めていこうと思います。ありがとうございました。

